

表1は、総合知学Ⅰにおける「郷土学習」の自己評価票の内容である。生徒が自分自身を評価し、さらに、項目ごとにコメントを書いて、評価の内容がより具体的になるように工夫してある。さらに、評価の点数化を図ることで、より客観的な評価になるよう配慮されている。

また、表2は、総合知学Ⅱにおける「テーマ学習」中間発表用評価票とその記入例の一部である。評価項目は、発表態度、発表の声の大きさ・明瞭さ、そして発表内容であるが、他人の発表を聞いて感じたことを記録させることにより、聞く観点を明確化していくことを意図したものである。

		評価の視点	自己評価	コメント
計 画	①	テーマの選び方、着眼点やアイデアはよかったか。	5 4 3 2 1	
	②	調査計画を具体的にしっかり立てられたか。	5 4 3 2 1	
	③	役割分担は公平にできたか。	5 4 3 2 1	
調 査	④	計画的に調査活動が進められたか。	5 4 3 2 1	
	⑤	資料や材料の収集等、準備はよくできたか。	5 4 3 2 1	
	⑥	積極的・意欲的に調査活動に取り組めたか。	5 4 3 2 1	
活 動	⑦	協力的に調査活動に取り組めたか。	5 4 3 2 1	
	⑧	新たに気付いたり、疑問や好奇心をもつことができたか。	5 4 3 2 1	
	⑨	自分なりに満足感・充実感のある調査活動ができたか。	5 4 3 2 1	
発 表	⑩	自分なりに工夫してまとめたり、発表したりすることができたか。	5 4 3 2 1	
	⑪	他のグループの発表から積極的に学べたか。	5 4 3 2 1	

表1 「郷土学習」自己評価票の内容

番号	生徒氏名	テーマ名	メモ（印象に残ったことをメモする）	評価（発表態度・声等）	評価（内容）
1	A	熱帯魚について	水草は、光合成をして魚に役立つことがわかった。	3 ② 1	3 ② 1
2	B	紫外線の被害	皮膚に大きな影響がある。発表態度がよい。	3 ② 1	③ 2 1
3	C	ケーキの作り方	全卵で作る方法と卵白・卵黄に分ける方法がある。	③ 2 1	3 ② 1
4	D	ニキビの治し方	三つのタイプがあることが分かった。	③ 2 1	③ 2 1

表2 「テーマ学習」中間発表聞き取り評価票と記入例の一部

#### 4 取材を終えて

「総合知学」における評価の工夫は、「自己評価をしたり、他人からの評価を受けたりすることによって生徒の学習意識が高まった」「他人の発表を聞くことによって自分の学習内容を高められた」などの成果を上げている。この学習意識の高まりは、総合知学Ⅲ（3年次）や各教科等の学習に引き継がれ、さらに広がりや深まりを増して、「知の総合化」を図るものと期待される。

また当校では、平成12年度から3年間、「評価を生かした多様な教育活動の研究」をテーマに文部科学省指定の研究開発を行っている。これは、地域や小・中学校及び大学等と共同で特色ある教育課程を開発するとともに、学校内の評価委員会や学校外の評議員会等による教育評価を生かした柔軟で多様な教育活動の展開についての研究である。このような研究開発や実践を通して、当校の教育活動が活性化し、生徒一人一人の豊かな自己実現につながることを期待したい。